平成25年	F度事務事業評	価シート	該当事業(評価対象外事業は基 公共建設事業	
事務	8事業名	障害者(児)タク	シー利用助成	事業	
予	算科目	3款 1	項 13 目		
	での位置付け	福祉の向上と何福祉施策の向		実~やすらぎとぬくも	らりのまちづくり~
所管	管課情報	担当課:	福祉課	電話番号(内線)): 556
記入	者情報	所属長: 中	中田 末明	担当責任者:	渡辺 悦子
事業	美の性格	法定事務			
実	施期間	【開始年度】 平	成 17 年度	【開始年度】設定なし	,
事業	美の対象			育手帳A•B•精神障害	
根拠法令等	伊予市障害者(児)タク	137.11-33770 3 51	77,052,117		
事業の目的		より、交通手段の確	霍保と付添い介護!	する場合に、予算の範囲(に伴う負担の軽減を図り、	
事業の内容	該当者に対し、一人あい。一枚あたり、タクシ			助成券は一回の乗車につ	き一枚しか使用できな
改善策の 具体的 取り組み (当初)	タクシー券の利用促進 検討する。	を図るために、対象	東者全員に送付す	る申請案内に、代理申請	の方法を明記した案内を
改善策の 具体的 取り組み	高齢者世帯で交通手段 する。返送手段や受取			目からタクシー券が使える	ように、郵便請求を検討

		事業費	及び財源内訳		
J	頁 目	24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
	直接事業費	4,706	5,256	2,456	4,723
事業費	人件費	2,079	1,382	813	1,382
	合計	0	6,638	3,269	6,105
	人工数	0.26	0.17	0.10	0.17
人件費	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
内訳	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	2,079	1,382	813	1,382
	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
財源内訳	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	6,785	6,638	3,269	6,105

	事業活	話動の実績(活動	カ指標)		
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
タクシー助成対象者	人	1404	1390	1400	1450
タクシーチッケト発行者	人	771	745	700	729

			向こう5年	間の直接事業	費の推移		
ſ	在由	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
l	平 及	6,000	6,000	6,000	0	0	18,000

		成果指標		
成果指標	タクシーチケット発行率			
指標設定の 考え方	適切な周知を行い、より多くになっている障害者の生活		と利用促進を図ることで、通	院・通学などの面で支出増
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標27年度
	50%	50%	50%	0
実績	54.9%	50.3%	0	0

		自己評価		
		目的の妥当性	4	
	妥当性	市民ニーズへの対応	4	В
	市の関与の妥当性 4			
自己評価		事業の効果	4	
(担当責任者)	有効性	成果向上の可能性	3	В
(四月月17日)		施策への貢献度	4	
	11 -4-14	手段の最適性	4	B
	効率性	コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
		ずや免許のない知的障害者にとって、通院等にかかる交 の範囲内ですこしでも助成券を必要としている障害者に		
		:め、郵送や代理申請を可能としたことを案内文書で明示		120 1207
課題認識				
不迟心识				

		一次評価		
		目的の妥当性	4	
	妥当性	市民ニーズへの対応	4	B B
		市の関与の妥当性	4	
一次評価		事業の効果	4	
(所属長)	有効性	成果向上の可能性	4	В
(別為文)		施策への貢献度	4	
		手段の最適性	4	
	効率性	コスト効率	4	В
		受益者負担の適正	4	
	予質の範囲内で助成え	とを必要としている陪宝者に利田していただきたい		

予算の範囲内で助成券を必要としている障害者に利用していただきたい。

課題認識

	二次評価
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

	行政評価委員会の答申
外部評価 (行政評価委員会)	

	経営者会議の最終判断
事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	